

コマンドの説明

制御コマンド

プログラムスタート プログラムの先頭に必ず入れてください。

3 回繰り返す ★のところにコマンドを入れると、指定した回数、繰り返し実行します。

実行 ★

多重ループ（繰り返しの中に繰り返し）も可能です

もし～なら ▲
YES ★

▲の所に条件コマンドを入れます。その条件が成立すれば、★に入れたコマンドを実行します。条件が成立しなければ、※に入れたコマンドを実行します。

もし～なら ▲
YES ★
No ●

▲の所に条件コマンドを入れます。その条件が成立すれば、「YES」(★)のコマンドを実行します。条件が成立しなければ、「No」(●)のコマンドを実行します。

● **SW=ON** 条件コマンドには、SWのON/OFF、
● **明るさ >= 50** 指定した数値よりも明るい暗いか
● **温度 > 25** 指定した数値よりも温度が高いか低いか
● **現在の温度が変数 x より高い** 現在の温度が変数コマンドで計測した値よりも高いか低いか比較します。

LED点灯コマンド

赤 1 秒点灯 選択した色で、LEDを点灯させます。点灯時間は0.25秒から31.75秒まで、0.25秒ずつ指定できます。

★ で 1 秒点灯 ★部分をクリックして、点灯色を選びます。

Red: 255 Green: 255 Blue: 255 で 1 秒点灯

光の3原色である、赤、緑、青を数字で指定して光らせます。0(暗い)～255(明るい)を指定できます。

赤をフェードイン する 指定した色をフェードイン・フェードアウトします。
フェードイン : だんだん明るくなります
フェードアウト : だんだん暗くなります

赤を連続点灯 指定した色で、LEDを点灯させ続けます。タイマ命令や信号待ち命令と組み合わせて使います。

バックライトを 100 % で 1 秒間点灯する

時計のバックライトを指定の明るさと秒数で点灯させます。連続点灯と消灯命令もあります。

変数コマンド

変数 x に代入する 温度を測定し、変数 x に保存します。この値は、プログラム中に何度も使えます。例えば、x で計測した10秒後の温度と比較する場合に使用します。

LED(目)コマンド

右目を 1 秒点灯 LED(目)を点灯させます。点灯時間は1秒から255秒まで、1秒ずつ指定できます。

右目を連続点灯 右目(左目)のLEDを点灯させ続けます。タイマ命令や信号待ち命令と組み合わせて使います。

右目を消灯 右目(左目)のLEDを消灯します。

サウンドコマンド

確認音 1 確認音 1~3の3種類の音を鳴らせます。

音プログラムを再生する

確認音 1~3の3種類の音を鳴らせます。「音プログラムを再生する」は、自作の音楽をプログラム中に鳴らすことができます。

タイマコマンド

動作停止 1 秒 タイマコマンドは、指定した時間(1~255秒)プログラムが止まります。

動作停止 1 秒 or 音センサ

動作停止 1 秒 or SWセンサ

動作停止 1 秒 or 明るくなるまで 50

動作停止 1 秒 or 暗くなるまで 50

動作停止 1 秒 or 温度 25 度

「or～」となっているのは、タイマ動作中にそのセンサに入力が有れば、タイマがキャンセルされて、次の命令に進みます。

例

動作停止 1 秒 or SWセンサ

左の例では、100秒を計測中に、SWスイッチを押すと、タイマの計測を止めて次の命令に進みます。

信号待ちコマンド

音センサ信号があるまで待つ

信号待ちコマンドは、それぞれのセンサに入力があるまで、プログラムが停止します。

SWボタンが押されるまで待つ

温度が 25 度になるまで待つ

明るくなるまで待つ 50

暗くなるまで待つ 50

信号入力があるまで待つ

アラーム信号があるまで待つ

「信号入力があるまで待つ」別売の接続ケーブルを使って、2台のオーロラロックを接続し、「信号出力」命令と合わせて使います。

「アラーム信号があるまで待つ」アラーム時刻を設定して、その時刻になるまでプログラムが停止します。

出力コマンド

信号出力

DCモータを 1 秒動かす

豆球を 1 秒動かす

信号出力端子に別売のSK-01ケーブルを接続して使います。

「信号出力」は、2台のオーロラロックを接続したときに使います。

「豆球」や「DCモーター」は、別売のUCK-10の豆球、DCモータを動作させることができます。